

2026  
ズバリ! 的中



世界史

# 北海道大学

マムルーク朝を滅ぼしたオスマン帝国の位置づけを  
説明する論述問題がズバリ的中

## 入試問題

前期日程 総合入試(文系)、学部入試(文)  
大問2 問5

## 河合塾

夏期講習 世界史論述  
第2講 基本類題

2 次の文章を読み、問いに答えなさい。

次いで、の治世下の1517年にマムルーク朝を滅ぼすと、オスマン朝の支配領域は東地中海方面に大きく拡大する。それまでマムルーク朝の領土で

問5 下線部(4)について、この出来事によってオスマン朝が宗教上、どのような役割を継承し、いかなる地位を主張するようになったのか、説明しなさい。

第2講

【基本類題】

(東京学芸大)

マムルーク朝を滅ぼした結果、オスマン朝のイスラーム世界における位置づけはどのようなものになったか、70字以内(句読点を含む)で説明せよ。

【解答例】(河合塾作成)

メッカとメディナの二つの聖地の管理権を支配下におさめ、マムルーク朝が擁立してきたカリフを廃したことで、スンナ派信徒の指導的地位となった。